農業集落排水事業を支援します

最適整備構想・事業計画書・設計・積算・現場管理

■最適整備構想の策定

農業集落排水施設の長寿命化対策に役立て るため、機能診断調査を実施し、調査結果を 踏まえた最適整備構想策定を支援します。

■事業実施の支援

汚水処理施設や管路施設などの調査, 測量, 設計、施工管理等を支援します。

■事業計画の策定

農業集落排水事業採択に向けて、地域の実情に 応じた事業計画書の作成を支援します。

■資源循環施設の整備

農業集落排水汚泥(普通肥料)を利用した、 堆肥化施設(コンポスト施設等)の整備を支援 します。

農業集落排水施設の機能強化事業採択までの流れ

県内には供用を開始している農業集落排水施設が59施設あり、供用開始後20年を経過した施設(者 朽化施設)は増加している状況です。老朽化が進行している施設は、機能強化対策事業を活用して、機器 類更新などの老朽化対策を行えます。

農業集落排水施設の現状と課題

• 施設の老朽化

採択4年前:機能診断調査

- 処理施設やポンプの異常通報が頻発
- 経年劣化による機器類の不具合が発生
- 施設の長寿命化対策を実施する必要がある



·機能診断調査 200万円/1処理区(国費定額) ※最適整備構想 処理区数×100万円+200万円 (上限800万円)(国費定額)

機能診断状況





(処理施設)



- 施設の劣化状況等を客観的指標で評価する 機能診断調査を実施
- ・機能診断調査に基づく機能保全コストを算出し 最適整備構想を策定



採択2年前:事業計画書作成

事業主体50%で 計画書を作成

• 施設の管理状況の確認、機能状態の調査

事業計画書の作成

- 調査結果に基づく対策工法等の検討
- ・地域の実情に応じた事業計画書の作成



※供用開始後7年 以上経過した施設 を対象

機能強化事業の導入

- · 汚水処理施設、管路施設の老朽化対策 (コンクリート防食工事・機器更新)
- ・通報装置システムの更新、汚泥処理施設の追加

事業実施例

(管路施設)



■機能強化事業実施中(令和3年5月現在)

地: 7施設 (全27施設) 離島・奄美: 1 2施設(全33施設)

農業集落排水事業が快適な生活環境を創造します



農業集落排水(下水道)施設管理システム作成業務

[施設の属性確認]

地理データ

3 3 3 3 3 - 4 4 4 TO MISSION OF THE PROPERTY OF

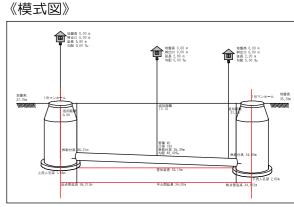
施設情報の管理

属性データ

TO 30- 400

BMETE

WESSS BINE INCHES BROKES



※自動作成

模式図, 縦断図, 横断図

※帳票出力

処理施設毎の総括調書

管路施設調書(管路延長,マンホール数, 公共枡数, 中継ポンプ数)

- ・集落排水(下水道)施設管理システムを整備することで、「位置情報」「属性情報」「関連情報」等 を把握することができます。また、模式図等の自動作成や各種帳票出力が可能となります。
- ◆水土里ネット鹿児島では、技術と実績を活かした技術支援や、技術向上を目指した研修会の開催 など、今後とも市町村と一体となった体制で、農村地域における自然環境の保全や生活環境の改 善を支援します。また、農業集落排水施設の老朽化や維持管理についても、ご相談ください。



問い合わせは、事業部農村整備課または最寄りの事務所・支部まで

採択年度